申請書、推薦書及び別刷り各１部を取り纏めのうえ**PDF**で提出し、１冊は紙媒体でそれぞれ同窓会事務局にすること。

申請書、推薦書及び別刷りの左側には約２５㎜ の「とじしろ」を設けること。

令和　　年度　北海道大学医学部同窓会フラテ研究奨励賞申請書

研究課題

（ふりがな）

氏　　　名

生年月日【和暦で記載】、年齢【応募年度末】

卒業大学・学部名、卒業年月【和暦で記載】、卒業期

所属大学・部局等（又は勤務先）

連絡先電話番号、E-Mail

自宅住所、電話番号

略歴【大学卒業年月、卒業以後の経歴、職歴等参考となる事項を和暦で記載】

賞罰【和暦で記載】

▼ １．研究目的【４００字以内】▼

▼２．研究経過・研究結果【２，０００字以内】▼

▼３．発表業績▼

【発表業績記載方法等】

１．発表年順に著者名、論文題名、掲載誌名、巻・号・頁（初頁と終頁）、年を記載し、邦文、欧文別に通し番号を付す。

２．申請者は太字とし下線を付す。また、責任著者（corresponding author)には名前の左にアスタリスク（＊）を付す。

　例：Masuda, Y, Takahashi, H. and \*Hatakeyama, S.: TRIM29 regulates the p63-mediated pathway in cervical cancer cells, Biochim. Biophys. Acta-Mol. Cell Res., 1853, 2296-2305, 2015.（５年ＩＦ= 6.005、補正ＩＦ= 4.003）

３．この内主要なもの５編の番号に○印を付し、その別刷りを１部添付する（PDF）。

４．記載した欧文原著論文ごとに発行年の右欄に括弧書きで５年インパクトファクター（５年ＩＦ）の数値を記入する（５年ＩＦがまだない場合は、通常のＩＦを用いる）。

５．５年ＩＦ（若しくはＩＦ）は、最新版の数値を記入する。

６．英文業績論文の最下段に、論文数、合計５年ＩＦ、平均５年ＩＦ、補正合計５年ＩＦの集計値を記入する。

　例：（論文数２０報、合計５年ＩＦ= 61.461、平均５年ＩＦ= 3.073、補正合計５年ＩＦ= 43.665）

７．補正５年ＩＦ値の計算方法 (※下４桁以下は切り捨てる)

　　① first author あるいは corresponding author （５年ＩＦ）× １．０

　　② second author （５年ＩＦ）× ０．７５

　　③ その他 （５年ＩＦ）× ０．５

８．別刷り１ページ目の上部余白に「３」の対応する番号を右詰めで記入する（手書き可）。